

今、何の病気が流行しているか！

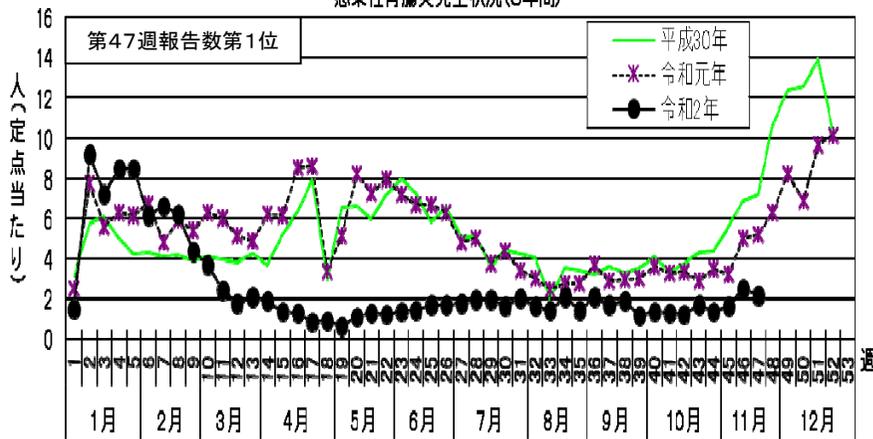
【感染症発生動向調査事業から】

令和2年11月16日（月）～令和2年11月22日（日）〔令和2年第47週〕の感染症発生状況

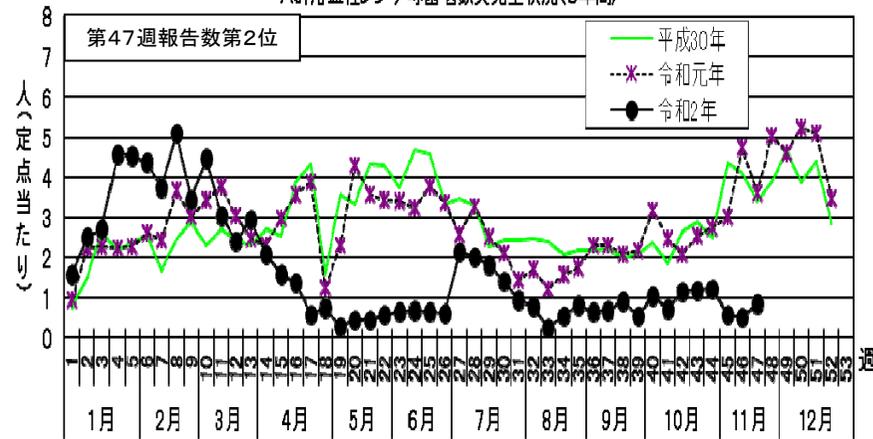
第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.16人と前週（2.49人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.86人と前週（0.51人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.59人と前週（0.41人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



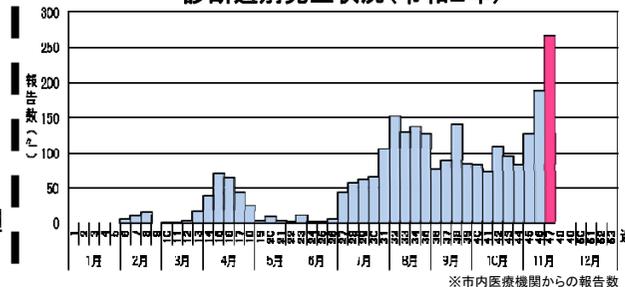
マスクは正しく着用を！～新型コロナウイルス感染症～

現在、全国的に新型コロナウイルス感染症の報告数が急増しています。川崎市においても、令和2年第45週（11月2日～8日）に126件であった報告数が、第46週（11月9日～15日）は188件、第47週（11月16日～22日）は266件と2週間で大幅に増加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐには、マスクの着用・3密の回避・手洗い・消毒など、基本的な対策を徹底することが重要です。

特にマスクの着用方法については今一度見直し、正しく付けて、お互いの飛沫による感染を防ぎましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年)



正しいマスクの着用方法



誤ったマスクの着用例



基本的な感染対策

